

2021年4月12日～9日

3 国政選挙、日米関係、政局、日本学術会議

3選挙勝利へ連携要請 連合会長、立憲・国民代表と会談

時事通信 2021年04月09日16時46分

連合の神津里季生会長は9日、東京都内のホテルで立憲民主党の枝野幸男、国民民主党の玉木雄一郎両代表と会談し、25日投開票の参院長野選挙区補欠選挙、参院広島選挙区再選挙、衆院北海道2区補選(13日告示)の3選挙勝利へ向け、連携を求めた。

会談は神津氏が呼び掛けた。神津氏は「両党が力を合わせて政治課題を前に進め、いずれ政権を担ってほしい。3選挙の勝利を土台に、生活者や働く者本位の政治を進めてほしい」と要請。これに対し、枝野、玉木両氏は「一体となってやっていこう」と応じた。

野党共闘が独自路線、迫られる判断 国民民主のジレンマ

朝日新聞デジタル 鬼原民幸 2021年4月11日 8時00分



フロントライン

野党の苦境を物語る一幕だった。

菅政権下で初の国政選挙となる参院2選挙が告示された翌4月9日。国会近くの東京都内のホテルの一室に、立憲民主党の枝野幸男代表と国民民主党の玉木雄一郎代表、両党を支援する労働組合の全国組織・連合の神津里季生会長が顔をそろえた。

会合後、記者団の前に出てきた3氏。枝野、玉木両氏に挟まれる形で真ん中に立った神津氏は、「二つの党が力を合わせることは非常に大事なことで」と力を込めた。



3者会合後、(左から)立憲民主の枝野幸男

代表、連合の神津里季生会長、国民民主の玉木雄一郎代表が並んで記者会見に臨んだ。4月9日、東京都内、鬼原民幸撮影

選挙戦が始まったばかりのタイミングでわざわざ3者会談を行ったねらいを、連合幹部の一人は「組織内では『本当に野党共闘はできるのか』と疑問視する声がかかなり広がっている。3者が改めて連携を確認することで沈静化を図りたかった」と説明した。騒動収束、でも割れる党内

■

火種は先月31日、国民民主が臨時に開いた両院議員総会でまかれた。

「こんな協定があるのに推薦を…」
残り：1727文字／全文：2103文字

【闘う】ガラス細工の野党共闘に綻び 立民、参院長野補選で悩む共産との距離感

産経新聞 2021.4.10 21:56

10日午後、長野県松本市の中心部の公園に、立憲民主党代表の枝野幸男、共産党副委員長の田村智子、社民党党首の福島瑞穂

が参集した。参院長野選挙区補欠選挙(25日投開票)に立候補した立民の新人、羽田次郎(51)の応援演説会のためだ。

羽田は急逝した元国土交通相の羽田雄一郎の弟で、共産、国民民主党、社民が推薦する「野党統一候補」。自民党の小松裕(59)と事実上の与野党の一騎打ちとなった。

枝野は菅義偉政権の新型コロナウイルス対応を舌鋒鋭く批判したが、野党共闘への言及は控えめだった。

「党派を超えて多くの力をいただきながら、でも主役は政党ではない。皆さんと一緒に政治を変える」

話を終えると、羽田や田村、福島らの演説前にもかかわらず会場を立ち去った。候補者や党幹部らが並んで行く「がんばろう」コールにも姿はなし。陣営スタッフは「共産と並ぶのを党が嫌がったので、段取りに気を使った」と明かす。

一方、田村は「共産党もわがことの選挙として全力で頑張るべく」とアピール。共産は演説会を「市民と野党の大集会」と称して枝野や福島への登場も宣伝した。「立憲民主党街頭演説」と告知し、他党の参加者を記載しない立民との温度差は明らかだった。

立民と共産の距離感の難しさは、羽田が2月27日、共産の県組織などと結んだ政策協定をめぐる混乱で表面化した。労働運動をめぐる共産と歴史的に対立関係にある連合が問題視。「長野県連での軽率な行動」に慌てた枝野は連合会長の神津里季生に謝罪した。

それでも連合傘下の民間産業別労働組合の反発は収まらず、国民民主は推薦を撤回。羽田に「同党の重点政策実現に向けて最優先で取り組む」とする合意文書に署名させ、7日に再び推薦するなど迷走した。同党幹部は10日、応援入りしなかった。

ただ、地元では「中央で騒いでいるだけ」とみられている。同選挙区での野党共闘は3回連続で定着しているからだ。県内の労働出身の地方議員は「地区によっては共産と一緒に候補者のポスター張りをしている」と胸を張る。

10日の松本市の演説会で、市民団体の代表が政策協定について「一部の人たちが文句を言って足を引っ張ろうとしている」と批判し、協定内容の実現を訴えると、羽田は聴衆とともに拍手で応えた。

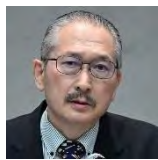
国民民主の再推薦は、次期衆院選に向けて共闘の枠組みの維持を優先した代表の玉木雄一郎の苦肉の策。同党国会議員の一人は「ガラス細工のように積み上げてきた野党共闘のボロが出た」と語る。＝敬称略
(田中一世)

連合、立憲、国民 衆参3選挙結束 方針確認

毎日新聞 2021/4/10 東京朝刊

連合の神津里季生会長は9日、立憲民主党の枝野幸男、国民民主党の玉木雄一郎両代表と東京都内で会談し、25日投開票の衆参両院3選挙に結束して臨む方針を確認した。参院長野選挙区補欠選挙で、立憲新人が共産党などの県組織と結んだ政策協定が国民や連合傘下の民間産業別労働組合(産別)の一部から問題視され、告示直前まで混乱が続いた事態を踏まえた。
残り 36文字 (全文 203文字)

連合と立憲・国民 衆参3選挙に向け結束確認



神津里季生・連合会長

連合の神津里季生会長は9日、立憲民主党の枝野幸男、国民民主党の玉木雄一郎両代表と東京都内で会談し、25日投開票の衆参両院3選挙に結束して臨む方針を確認した。参院長野選挙区補欠選挙で、立憲新人が共産党などの県組織と結んだ政策協定が国民や連合傘下の民間産業別労働組合（産別）の一部から問題視され、告示直...

残り189文字（全文339文字）

連合 コロナ禍の雇用対策 立民・国民両党と取りまとめへ

NHK2021年4月12日 5時10分



新型コロナウイルスの影響で雇用情勢は深刻だとして、連合は次の衆議院選挙も見据えて立憲民主、国民民主両党と具体的な対策を取りまとめることになりました。連合としてはこの協議をきっかけに、両党の選挙での連携強化につなげていきたい考えです。連合は、感染拡大の影響で雇用情勢は深刻で、今の政府の取り組みでは不十分だとして、立憲民主、国民民主両党と、仕事を失った人の就労支援策など具体的な対策を取りまとめることになりました。

連合としては、秋までに行われる衆議院選挙でも雇用対策をはじめとした新型コロナ対策は争点になるとみて、この協議をきっかけにして両党の連携強化につなげていきたい考えです。

ただ、立憲民主党と国民民主党の間ではエネルギー分野など政策面で隔たりがあるほか、国会の憲法論議でも対応が分かれる場面が表面化しています。

このため、連携の強化に向けても、こうした立場の違いをどこまで乗り越えられるかが鍵になりそうです。

与野党幹部「駆け込み」応援 「まん延防止」追加直前参院2選挙

時事通信 2021年04月12日 07時01分



街頭演説する自民党広島県連会長の岸田文雄前政調

会長＝11日午後、広島市



参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補欠選挙の告示後初の日曜日となった11日、与野党幹部が現地入りし、支持を訴えた。新型コロナウイルス感染が再拡大する中、菅義偉首相は「まん延防止等重点措置」の適用地域で不要不急の越境移動自粛を呼び掛けており、12日からの地域拡大を前に「駆け込み」でこ入れを図った形だ。

広島市では自民党の岸田文雄前政調会長と公明党の山口那津男代表がそろってマスク姿で選挙カーの上に立った。岸田氏は、再選挙のきっかけとなった2019年参院選をめぐる買収事件について「心からおわびしなければならない」と謝罪。「真の政治の信頼回復を果たさなければならない」と強調した。

山口氏も陳謝した上で、「今回はさまざまな選挙の前哨戦。何としても勝ち抜かなければならない」と力説した。演説後、山口氏は記者団に、12日以降の応援について「感染防止策に従ってきちんと対応したい」と説明した。

一方、立憲民主党の枝野幸男代表は広島市で街頭に立ち、感染再拡大や買収事件を「暮らしに目を向けない政治の象徴だ」と指弾。「広島からまっとうな政治を取り戻す第一歩を踏み出そう」と訴えた。続いてマイクを握った国民民主党の玉木雄一郎代表も「政治を変えていこう。その大きなろしを広島から上げよう」と呼び掛けた。

枝野氏は玉木氏の到着直前に現場から車で出発。両氏がそろい踏みする場面はなかった。

しんぶん赤旗 2021年4月11日(日)

参院長野補選（25日投票） 羽田統一候補 政治変える 松本・安曇野市 田村・枝野・福島氏が応援



(写真) 訴える田村智子

政策委員長。右は羽田次郎候補＝10日、長野県松本市

立憲民主党・羽田雄一郎氏の死去に伴う参院長野選挙区補選（25日投票）をたたかう羽田次郎・野党統一候補の応援で10日、松本、安曇野（あづみの）両市に日本共産党の田村智子政策委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、社会民主党の福島瑞穂党首が駆け付け「共闘の力で自民党政治を変えよう」と呼びかけました。

聴衆の拍手や太鼓で歓迎された羽田候補は、留学時に受けた差別経験などを紹介し「差別のない社会、生きやすい社会をつくりたい」と決意。兄・雄一郎氏の後を継ぎたたかう選挙戦で「兄同様に皆様の力をつなげてほしい」と語りました。

田村氏は、医療機関への赤字補填（ほてん）など、新型コロナ対策が後ろ向きな菅自公政権を批判。「国民の命とくらしを守る覚悟も政策もない」と断じました。

田村氏は、安保法制廃止の一致点で進んできた野党共闘について「平和を求める思いが根っこにある共闘は、決して崩れない」

と、その値打ちを強調。「学生の困窮など人の痛みに寄り添い、共闘の意味を胸に刻む羽田候補を国会へ送ろう」と訴えました。

枝野氏は、PCR検査拡充など野党が求めてきた新型コロナ対策に背を向けた菅政権を「現場の声を聞いていない」と指摘。「草の根の声を聞き、命、暮らしを守る政治に変える。補選をその一歩にしよう」と述べました。

福島氏は、コロナ禍でも公立病院の統廃合、高齢者の医療費負担増を狙う菅政権に対し「新自由主義による格差拡大の政治を変えよう」と話しました。

本気でとめる戦争！中信市民連合の又坂常人氏（松本市）、いのちと未来を考える安曇野の会の森清寿郎氏（安曇野市）が羽田候補を激励。立民の下条みつ衆院議員、杉尾秀哉参院議員も勝利へ決意表明しました。

松本市の70代男性は「政府のでたらめなコロナ対策を変える政治を願う」と羽田候補への期待を寄せました。

羽田候補は同日、山形村でも遊説しました。

しんぶん赤旗 2021年4月10日(土)

市民・野党の共闘に希望 参院2選挙 声なき声の代弁者として 羽田候補訴え 長野



(写真) 羽田候補(左)の街頭

演説で激励あいさつをする、ながせ衆院長野4区予定候補(右)＝9日、長野県下諏訪町

参院長野補選(25日投票)告示2日目の9日、羽田次郎・野党統一候補(51)は飯田市、伊那市、下諏訪町を遊説し「与党候補に必ず勝利し、政権交代につなげられるようにしたい」と訴えました。

下諏訪町の公園では200人が集まり、日本共産党の、ながせ由希子衆院長野4区予定候補らが駆け付け、激励しました。

羽田候補は、東京五輪・パラリンピック組織委員会前会長の森喜朗氏の女性蔑視発言に触れ、「いつまでもこのような政治が続かぬよう、小さな声、声なき声の代弁者として国政で働かせてください」と訴えました。

ながせ氏は、菅政権のコロナ対応の中で女性の自殺者が急増していると指摘し、「選挙区内で菅政権への強烈な不安と怒りを多くの方から聞いています。全国が注目する選挙で市民と野党の共闘に希望があることを発信しよう」と呼びかけました。

4区市民連合連絡会の出口富美子さん(原村)は「選挙に行こう」と選挙運動の中で語っていると報告。社民党4区支部代表の武居光宏さんは「憲法9条を守るために勝利しよう」と訴えました。

参院広島再選挙 与野党代表が相次ぎ広島入り 支持呼びかけ舌戦

毎日新聞 2021/4/11 22:10(最終更新 4/11 23:01)



週末を迎え、参院広島選挙区再

選挙の候補者と応援弁士の演説に聴き入る市民ら＝広島市内で2021年4月11日午後1時40分、堀江拓哉撮影(画像の一部を加工しています)

公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里元参院議員の当選無効に伴う参院広島選挙区再選挙(25日投票)は、告示後最初の日曜日となった11日、与野党の代表が相次いで広島入りした。代表らは再選挙のきっかけとなった2019年の前回参院選を巡る大規模買収事件に言及しながら、推薦する候補者の支持を有権者らに呼びかけた。



宮口治子氏の応援に駆けつけ、拳を

上げる立憲民主党の枝野幸男代表(右)＝広島市安佐南区緑井1で2021年4月11日午後2時28分、小山美砂撮影

立憲民主、国民民主、社民各党の広島県組織などで作る政治団体「結集ひろしま」から出馬し、3党の推薦を受ける新人の宮口治子氏(45)が広島市内で行った街頭演説には、立憲の枝野幸男代表と国民の玉木雄一郎代表が駆けつけた。

枝野代表は大規模買収事件について「政策や思いを伝えるためではなく、仲間内に良い思いをさせるために金が配られた。県民一人一人の暮らしに目が向いていない象徴だ」と批判し、「選挙の主役は県民。本当の民主主義を取り戻そう」と訴えた。玉木代表は、自民党が今回の再選挙を「出直し選挙」と説明していることについて「候補者本人も自民党も事件の総括をしていない状況で、誰にとってもの出直しなのか」と指摘。「おかしいと思うことに声を上げ、世直し選挙にしよう」と呼びかけた。



西田英範氏(中央)の手を取る公明

党の山口那津男代表(左から2人目)と自民党の岸田文雄前政調会長＝広島市のJR広島駅前で2021年4月11日午後1時41分、堀江拓哉撮影

公明党の山口那津男代表は自民党広島県連会長の岸田文雄前政調会長と、JR広島駅前で自民新人の西田英範氏(39)＝公明推薦＝の演説に登壇した。

公明は前回参院選広島選挙区で案里氏ら自民公認2候補を推薦。当時、案里氏の応援演説にも駆けつけた山口代表は「こんなことになるとは夢にも思わなかった。心からおわびする」と頭を下げるとともに、「西田さんは経済産業省で力を発揮してきた」

と強調、清廉潔白さもアピールした。

公明は再選挙に先立ち、次期衆院選の広島 3 区に斉藤鉄夫副代表の擁立を決定。自民県連の反発を招いたものの、再選挙との相互協力を約束する形で落ち着いた経緯があり、負けられない「前哨戦」と位置づける。山口代表は演説後、記者団に「再選挙で力を合わせて勝利することが次の流れにつながる」と語った。

演説を聞いた広島市佐伯区の無職、大杉登さん（56）は「誰が政治家になっても世の中は変わらないと思っていたが、1 票を託したいと思うようになった。政治とカネの問題と決別する選挙になるよう、多くの人が投票に行くべきだ」と話した。

参院広島再選挙には両氏のほか、無所属新人の佐藤周一氏（45）▽無所属新人の大山宏氏（72）▽無所属新人の玉田憲勲氏（63）▽NHK 受信料を支払わない方法を教える党新人の山本貴平氏（46）が立候補している。【賀有勇、小山美砂】

しんぶん赤旗 2021 年 4 月 10 日（土）

市民・野党の共闘に希望 参院 2 選挙 県民の良識示したい 共産党が宣伝 広島



（写真）「広島民報」号外を受け取る女性（左から 3 人目）＝9 日朝、広島市

25 日投票の参院広島選挙区再選挙で市民と野党の統一候補、宮口はるこ氏（45）＝諸派新＝を国会に送ろうと 9 日朝、広島市の日本共産党南区委員会の人たちが南区のスーパー前で横断幕やのぼりを使ってスタンディング宣伝をしました。

2019 年参院選をめぐる大規模買収事件で河井案里前参院議員の有罪確定、当選無効を受けての再選挙は事実上の与野党一騎打ちとなり、全国が注目しています。参加者は「自民党の金権政治に審判を下そう」と市民に呼びかけました。

「広島民報」4 月号外を受け取った出勤途中の市内の女性（48）は「（河井事件で県民に恥をさらして）残念です。藤田雄山前知事時代から広島ではひどいことをしている。（宮口候補に）頑張ってもらいたい」、年金生活の女性（70）も「菅義偉首相は辞めてほしい。コロナで年金暮らしの人も学生も苦しんでいるのに選挙買収とは狂っている。これまで選挙に行かなかったが、今度ばかりは行かない」と話しました。

宣伝に参加した女性は「どうしても女性候補を通してジェンダー平等社会を実現したい。勝って広島県民の良識を示したい」と意気込みを語りました。

首相、参院 2 選挙の対応指示「気を引き締めて」 現地応援はせず

毎日新聞 2021/4/10 15:12(最終更新 4/10 17:30)



菅義偉首相＝首相官邸で 11 日、竹内幹撮影

菅義偉首相（自民党総裁）は 10 日午前、首相官邸で山口泰明

党選対委員長と約 30 分間会談し、25 日に投開票される参院長野選挙区補選と参院広島選挙区再選挙の情勢について報告を受けた。首相は山口氏に対し「気を引き締め、目配り、気配りをし、（業界）団体なども含めてしっかりやってほしい」と指示。首相が両選挙区に応援に入る予定はないという。

会談後、山口氏が記者団に明らかにした。首相の選挙区入りについて、山口氏は、感染が再拡大する新型コロナウイルスへの対応や、バイデン米大統領との初の対面での会談に向けて 15 日からの訪米を控えていることなどを挙げ、「今のところ考えていない」と述べた。【藤渕志保】

首相、参院長野補選・広島再選挙「気を引き締めて」党幹部に指示

産経新聞 2021.4.10 13:44

菅義偉（すが・よしひで）首相は 10 日、公邸で自民党の山口泰明選対委員長と面会し、25 日に投開票される参院長野選挙区補欠選挙と広島選挙区再選挙に関する情勢報告を受けた。首相は「気を引き締め、目配り気配りしてやってください」と山口氏に指示した。山口氏が面会后、記者団に明かした。

山口氏は「長野は野党候補が強い所だが、（自民候補が）それなりに頑張っている。広島は保守王国とはいえ、（令和元年の参院選広島選挙区をめぐる公職選挙法違反）事件があったから、しっかりとやらないといけない」と記者団に語った。

参院長野県区補選 首相「関係団体に目配りを」

信濃毎日新聞 2021/04/11 09:01

菅義偉首相は 10 日、自民党の山口泰明選対委員長と公邸で会談し、25 日投開票の参院長野県区補欠選挙と参院広島選挙区再選挙の勝利に向け、業界団体からの支援取り付けを強化するよう指示した。「厳しい選挙なので、気を引き締めて取り組んでほしい。関係団体などへの目配り、気配りをしっかりしてほしい」と述べた。会談後、山口氏が記者団に明らかにした。

山口氏は、首相が両選挙区に応援に入るかどうかを問われ、新型コロナウイルス感染が拡大している上、首相はバイデン米大統領との首脳会談を控えていると指摘。「今のところは考えていない」と述べた。

参院県区補選に立候補した同党新人の小松裕氏（59）の応援には 10 日、中谷元・元防衛相が県内を訪れ、埴科郡坂城町の街頭演説で安全保障問題や憲法改正論議に触れ「新しい時代にしっかりした国を造るには与党議員が必要だ」と強調。鈴木俊一・元五輪相は松本市での街頭演説で「新型コロナとの闘いはこれからが正念場で、今こそ小松さんの出番だ」と訴えた。

参院長野県区補選 枝野代表ら野党幹部が応援

信濃毎日新聞 2021/04/11 09:00

立憲民主党の枝野幸男代表は 10 日、参院県区補欠選挙（欠員 1）に立候補した同党新人の羽田次郎氏（51）の応援のため、松本、安曇野両市で街頭演説をした。枝野氏は命や暮らしを守る政治に転換すると強調し、「草の根の声を受け止め、暮らしの実態に合った政治に変えるきっかけになる選挙だ」と訴えた。

枝野氏は、新型コロナウイルスの感染「第 4 波」の拡大は政府

の対策の不備が原因だと主張。「(野党が) 1年前に検査を増やす法案を出したのに、審議拒否をしているのは自民党だ」と批判した。取材には「菅政権のコロナ対策には危機感がない。1強の政治状況では緊張感が失われ、金権腐敗が生じる」とした。

野党統一候補として推薦する共産、社民各党の幹部も応援演説に立った。社民党の福島瑞穂党首は今回の参院県区補選を「菅政権の終わりの始まりにしよう」と呼び掛け、共産党の田村智子副委員長(小諸市出身)は羽田氏が野党の県組織などと結んだ政策協定について「市民と野党の共闘は絶対に崩れ去ることはない」と主張した。

参院長野県区補選序盤情勢 羽田氏リードを保つ 小松氏追い上げ図る

信濃毎日新聞 2021/04/10 06:04

信濃毎日新聞社は9日、8日に告示された参院県区補欠選挙(欠員1)について、県内有権者1021人を対象に実施した電話調査や取材を総合し、序盤の情勢を探った。

(残り: 550文字/全文: 627文字)

握手はグータッチ、マイクに消毒液 コロナ禍の選挙、四苦八苦

毎日新聞 2021/4/11 15:00(最終更新 4/11 23:28)



握手の代わりに交わすグータッチ=長野市内で2021年4月8日午前9時22分、坂根真理撮影

コロナ禍で迎えた長野県内初の国政選挙、参院長野選挙区補選。しかも最近では新型コロナウイルスの陽性者が増加しており、一層の緊張を強いられる。候補者でもマスク着用は当たり前。支持者との握手も控え、拳を合わせる「グータッチ」で代用する。集会の人数も絞る。陣営からは「人を集め、人と触れ合うのが選挙なのに」と困惑の声も。【去石信一、坂根真理、鈴木英世】

「感染者出せない」

自民党新人の小松裕氏(59)の陣営が告示前日の7日、長野市で開いた決起集会。「密」を避けるため、広い会場に長テーブル約60脚を間隔を空けて並べ、1人ずつ座った。選挙集会といえば、多数の支持者を動員し、氣勢を上げるものだが、出席者数を抑えた。

地区ごとの情勢報告も一部はリモート。映像がスクリーンに映っても音声が届かず、急ぎ携帯電話を使う場面もあった。最後に全員で拳を突き上げたが、飛沫(ひまつ)飛散を心配して、声を出したのは進行役だけ。参加者は口をつぐんで心の中で声を上げ、苦笑いも漏れた。

一方、立憲民主党新人の羽田次郎氏(51)の陣営では、兄雄一郎氏が新型コロナウイルスに感染して亡くなっただけに、対策には神経をとがらせる。『関係者から感染者を出すな』が合言葉になっているという。

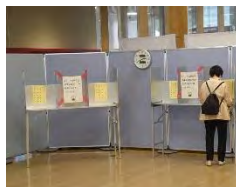
告示日にJR上田駅前で行った集会では、応援に駆けつけた弁士たちの演説が終わるたびに、マイクに消毒液を吹きかける念の入れよう。演説台もアクリル板で囲い、飛沫が周囲に飛ばないように配慮した。市民が詰めかけ「密」状態が生まれた時は、「もう

少し間隔を空けて」と分散するよう求めた。

NHK受信料を支払わない方法を教える党新人の神谷幸太郎氏(44)は県内で選挙活動をしなと表明。特別な感染予防策は取らず、「普段通りに気を付ける」としている。

期日前投票所も予防工夫凝らす

期日前投票所でも新型コロナウイルス感染予防に工夫が凝らされている。



密集対策で、3人が利用できる投票記載台

は1人分を利用不可とし間隔を空けた=長野市役所で2021年4月9日午後2時41分、鈴木英世撮影

中心部の飲食店などに休業や営業時間短縮を要請している長野市は、市役所庁舎1階に期日前投票所を開設した。業務にあたる職員はマスクに加え、全員がフェースガードを着用している。一度に3人が投票用紙に記入できる記載台も1人分を利用不可とし、有権者同士が間隔を取れるようにした。利用後は職員がこまめにアルコール消毒。鉛筆は使い捨てのものを用意して感染防止を図る。

投票所に入れる人数は約10人に制限。混雑状況はホームページに掲載し、約1時間ごとに更新して情報提供する。市選挙管理委員会の長谷部好紀事務局長は「安心して投票の権利を行使してほしい」と呼びかけている。

与野党の代表3人が相次ぎ広島入り 各地で舌戦

中国新聞 2021/4/11 23:00



左から山口氏、枝野氏、玉木氏

立憲民主、公明、国民民主の与野党3党の党首が11日、告示後で初の日曜日となった参院広島選挙区の再選挙で候補者の応援をするために広島県へ入った。公明党の山口那津男代表は推薦する自民党新人(39)とともに街頭に立ち、与党の結束の強さをアピール。立憲民主党の枝野幸男代表と国民民主党の玉木雄一郎代表は、ともに推薦する野党系の諸派新人(45)とともにマイクを握り、政権批判を繰り広げた。

「こんなことになろうとはゆめゆめ、思わなかった。おわび申し上げる」。山口氏は広島市南区での街頭演説の冒頭、大規模買収事件で当選無効となった河井案里元参院議員を2019年7月の参院選で推薦した点に触れ、頭を下げた。

今回推薦した新人を「清廉潔白だ」と持ち上げ、核兵器廃絶の実現や経済政策の実行に期待ができると強調した。「この選挙は様々な選挙の前哨戦だ。自公政権が襟を正し、国民の願いに応える」と結んだ。

演説後の記者団の取材では「党は次の衆院選広島3区で公認候補者がいる。再選挙の勝利が次につながる」と述べ、年内にある衆院選への意識を隠さなかった。福山市のJR福山駅前でも演説し、災害に強い広島の実現に向けて与党に議席を与えるよう訴え

た。

枝野氏は中区と安佐南区で街頭に立った。中区の金座街入り口では、河井夫妻による大規模買収事件に言及して「政治とカネ」の問題を追及。「仲間内の議員に金を配り、身内だけいい思いをさせた。暮らしの足元に目が向いていない象徴だ」と指弾した。

その上で、党県連が擁立を主導した諸派新人を「勇気を持って立ち上がってくれた」と紹介。その思いを共有して政治の流れを変え「暮らしの足元に光の当たるまっとうな政治を取り戻すため、第一歩を踏み出していこう」と力説した。

菅政権の新型コロナウイルス対策にも疑問を投げ掛けた。『第4波』は今の政治の失敗だと言わざるを得ない。政治がこの感染症に危機感を持たず、一人一人の暮らしに目が向いていない」と主張した。

玉木氏は枝野氏と入れ違いで金座街入り口に到着し、マイクを持った。大規模買収事件を踏まえて「自民党は再選挙を『出直し選挙』と位置付けているが、ちょっと待ってほしい。1億5千万円ものカネが使われた19年の参院選の総括を全くしない中、出直されても困る」と皮肉った。

立候補した諸派新人の決断を高く評価した。「今回は大規模買収事件を受けた『やり直し選挙』だ。おかしいことにおかしいと声を上げ『世直し選挙』にしていこう」と呼び掛けた。

福山市の福山駅前でも諸派新人と並び立った。終了後、投開票日が同じ参院長野、衆院北海道2区の両補選に言及し「広島は、三つの中では一番厳しい。民主主義が機能するかどうかを試されており、負けるわけにはいかない」とした。

宮口氏と西田氏、広島3区内で舌戦 初の週末、克行被告地盤へ中国新聞 2021/4/10 23:08



（左）商業施設前で街頭演説をして

支持を呼び掛ける宮口氏＝10日午後2時20分、広島市安佐北区（撮影・大川万優）、（右）J緑井駅前で街頭演説の聴衆と拳を合わせる西田氏＝10日午前10時54分、広島市安佐南区（撮影・藤井康正）

参院広島選挙区の再選挙（25日投開票）が告示されて初の週末となった10日、事実上の一騎打ちを演じる諸派新人の宮口治子氏（45）＝立憲民主、国民民主、社民推薦＝と、自民党新人の西田英範氏（39）＝公明推薦＝の2人が、ともに初めて衆院広島3区内に入った。2019年7月の参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で公選法違反罪に問われた河井克行被告と案里元参院議員の地盤で、訴えを響かせた。

午前11時。克行被告の事務所があった場所に近い広島市安佐南区のJ緑井駅前に、元経済産業省官僚の西田氏が立った。「事件で政治への信頼が損なわれた。広島政治を変えたいという人の思いを一つにしたい」。出身地の安佐北区では商業施設前で街頭演説したほか、母校の口田小周辺を選挙カーで回った。

広島3区は従来、自民党支持が厚い。ただ今回は、多くの党県連幹部が「大規模買収事件の影響で劣勢」とみる。党員が減り、

ゼロになった地区すらあるという。党所属だった河井夫妻から現金を受け取ったとされる地方議員も多い。

それを補うように、広島3区の2カ所の街頭演説で聴衆を集めたのは公明党だった。年内にある衆院選広島3区で、克行被告に代わる「与党代表」に決まった公明党比例代表中国ブロック現職の斉藤鉄夫氏が参加し、西田氏と並び立った。

公明党側には再選挙で西田氏を全面支援し、衆院選広島3区では自民党の支援を得て勝利につなげたい思いがある。斉藤氏は「西田氏は清潔な政治を貫くと約束した。私たちの責任で当選させる」と気を吐く。

広島県内の野党勢力でつくる諸派の政治団体「結集ひろしま」から立候補したフリーアナウンサーの宮口氏は午後2時過ぎ、安佐北区の商業施設前でマイクを握った。午前中には西田氏が訪れた場所。「手を振ったり『頑張れ』と言ってくれたりする。たくさんパワーをもらっている」と、手応えをアピールした。

宮口氏は選挙カーで、広島3区内の安佐北区を6時間かけて巡った。安佐北区は、立憲民主党県連の森本真治代表代行が市議時代から拠点としている。

森本氏は19年の参院選広島選挙区で案里氏を抑えてトップ当選した際、安佐北区の投票数の40%超を得た。今回の宮口氏では51%以上を目指すとする。衆院選広島3区へ準備を進める党新人のライアン真由美氏は「自分の名前を『宮口治子』と言ってしまいそう」と懸念さを明かす。

衆院選が小選挙区となった1996年以降、広島3区で今の野党系の候補者が勝ったのは、民主党が政権交代を果たした09年だけ。応援弁士からは「相手の背中が見えてきた」との言葉が飛び出したが、陣営では追う立場との認識が強い。

参院広島選挙区の再選挙はほかに、いずれも無所属新人で介護ヘルパーの佐藤周一氏（45）、元会社員の大山宏氏（72）、医師の玉田憲勲氏（63）と、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人で党職員の山本貴平氏（46）が立候補している。（河野揚、宮野史康）

「#投票所はあっちじゃけえ」 広島県の市民団体、SNSでキャンペーン選挙

中国新聞 2021/4/9 22:54



「投票所はあっちじゃけえ」キャンペーン

でSNSに投稿されたメッセージ

▽若者中心に意思表示促す

河井案里元参院議員の当選無効に伴う参院広島選挙区の再選挙（25日投開票）で、広島県内の市民団体の有志が、投票率向上を目指すキャンペーン「投票所はあっちじゃけえ」を始めた。人物を主な被写体とした写真「ポートレート」に投票を促す一言

を添え、会員制交流サイト（SNS）に投稿してもらう仕掛け。政治不信が高まる中、若者を中心に投票行動で意思表示するよう促す。

キャンペーンの参加者は、県内の期日前投票所や街頭で撮った自らの写真に投票理由や呼び掛けなどのメッセージを書き添える。「#投票所はあっちゃじゃけえ」のハッシュタグ（検索目印）を付けてInstagramとツイッターで発信し、拡散を呼び掛ける。

告示後初の日曜となる11日は、有志のうち7、8人が矢印の形をしたメッセージ板を手に、そろいの黄色い服を着て広島市内を行脚する。中区の原爆ドーム（午前9時15分）、中区役所（午後1時15分）、南区の旧陸軍被服支廠（2時45分）、南区役所（3時半）などで写真を撮影する。18、25日も同様のアピール行動を計画している。

案里氏が初当選後、公選法違反罪で有罪となった2019年7月の参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件を受け、中区のカフェ店主安彦恵里香さん（42）が、政治への関心を高めようと発案。核兵器廃絶や環境問題に取り組む市民団体のメンバーたちに声を掛けた。19年参院選などでの各地の活動を参考にしたいという。

19年の広島選挙区の投票率は44・67%で、2番目に低かった。安彦さんは「政治を諦めている場合ではない。1人でも多くの人に投票してほしい」と話す。

再選挙には、諸派でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）、無所属で介護ヘルパーの佐藤周一氏（45）、無所属で元会社員の大山宏氏（72）、無所属で医師の玉田憲勲氏（63）、自民党で元経済産業省官僚の西田英範氏（39）、NHK受信料を支払わない方法を教える党で党職員の山本貴平氏（46）の新人6人が立ち、1議席を争っている。（赤江裕紀）

参院広島再選挙 野党推薦新人がリード、自民新人が追う 情勢調査

毎日新聞 2021/4/11 05:30(最終更新 4/11 13:57)



参院広島選挙区再選挙が告示さ

れ、候補者の訴えを聞く有権者ら＝広島県呉市で2021年4月8日午後0時34分、猪飼健史撮影（画像の一部を加工しています）

参院広島選挙区再選挙が8日に告示されたのを受け、社会調査研究センターは10日、広島県内の有権者を対象に電話世論調査を実施して情勢を探った。諸派新人の宮口治子氏（45）＝立憲民主党、国民民主党、社民党推薦＝がリードし、自民党新人の西田英範氏（39）＝公明党推薦＝が追う展開となっている。回答者の3割が「まだ決めていない」としており、投票日の25日までに情勢が変わる可能性がある。

調査は10日、コンピューターで無作為に数字を組み合わせた固定電話の番号に電話をかけるRDS法で対象者を抽出。自動音声応答（オートコール）で質問し、1066件の有効回答を得た。

2019年の前回参院選を舞台にした大規模買収事件で、公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里元参院議員の当選無効に伴う再選挙。案里氏の夫克行元法相（衆院議員を辞職）も起訴されたこの事件を投票判断の材料として重視するかを調査で尋ねたところ、...

残り 674 文字（全文 1070 文字）

菅政権で初の国政選挙サンデー 与野党幹部が広島入り

朝日新聞デジタル太田成美、笹井継夫、吉川真布 2021年4月11日 20時23分



マスクを着用して候補者の演説を聞

く有権者ら＝2021年4月11日午後1時7分、広島市南区、上田潤撮影



菅政権にとって初の国政選挙となる参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補欠選挙（いずれも25日投開票）で、選挙戦初めの日曜日となった11日、与野党幹部が相次いで広島入りして支持を訴えた。

自民党の岸田文雄・前政調会長と公明党の山口那津男代表は、JR広島駅前に並び立って自民新顔の応援演説。再選挙の原因となった2019年参院選をめぐる河井案里氏＝自民を離党＝の公職選挙法違反（買収）事件についてそれぞれ陳謝した。

岸田氏は「この2年間の政治の空白を埋め、時代を動かす責任を果たすことによって、真の政治の信頼回復を果たしていかなければならない」と強調。山口氏は演説後、「前回、この場所でも（河井氏の）応援の演説をした。有権者に直接おわびをした上で、改めての出直しをお訴えしなければならなかった」と記者団に語った。

一方、国民民主、社民、共産各党とともに諸派の新顔を支援する立憲民主党の枝野幸男代表は、広島市内で演説。「再選挙のきっかけは、仲間内の県議会議員なんかにお金配った事件だ。現場で日々暮らしている一人一人の暮らしに目が向いていない政治が変わらなければならぬ」と訴えた。

枝野氏は演説後、「（新型コロナウイルス）感染症危機を乗り越えるための大事な選挙だ。大きな動きを作っていくためには、三つ勝つことが重要だ」と記者団に語り、13日告示の衆院北海道2区補選も含めた3選挙で全勝をめざす考えを示した。（太田成美、笹井継夫、吉川真布）

自民組織固め、野党は街頭 参院2選挙、初の週末

時事通信 2021年04月11日 07時04分



参院長野選挙区補欠選挙の自民党候補の応援演説をする同党の中谷元・元防衛相＝10日、長野県坂城町



参院の長野選挙区補欠選挙と広島選挙区再選挙は10日、告示後初の週末を迎えた。自民党が組織固めに力を入れたのに対し、野党は幹部がそろって人口の多い市街地に立ち、支持を呼び掛けた。

菅義偉首相（自民党総裁）は山口泰明選対委員長と首相公邸で会い、衆院小選挙区ごとに状況を細かく分析。各種支持団体を通じて引き締めを図る方針を確認し、「目配り、気配りをしっかりやってほしい」と指示した。山口氏はこの後、首相の現地入りは予定していないことを記者団に明らかにした。

自民党議員では中谷元・元防衛相が長野県坂城町を訪れ、支援者らを前に交通インフラ整備の必要性を強調。「与党議員が地域のお世話役として活動しなければならない」と訴えた。

一方、立憲民主党の枝野幸男代表は同県松本市の繁華街で演説。最近の新型コロナウイルス感染増を「政治の責任」と断じ、「命と暮らしを守る政治に変えなければいけない。そのきっかけにできる選挙だ」と声を張り上げた。共産党の田村智子政策委員長、社民党の福島瑞穂党首も同じ場所で続けて支援を求めた。

枝野氏は、11日は広島市の中心街で国民民主党の玉木雄一郎代表と演説する。立憲と国民の足並みが乱れがちな現状を踏まえ、次期衆院選をにらんで野党共闘を意識した動きも見せている。

参院長野補選告示 各政党のコメント

NHK 長野 04 月 08 日 18 時 51 分

補欠選挙が告示されたことを受けて県内で活動する政党は、次のようにコメントしています。

自民党長野県連の後藤茂之会長は「たび重なる不祥事については誠に遺憾であり、国民の信頼回復を図るため、自ら厳正に襟を正さねばならない。そのうえで申し上げれば、政治の責任は国民のいのちを守り抜くこと、国民の暮らしを支えぬことだと考える。与党としてしっかりと政治の責任を果たしていく」とコメントしています。

立憲民主党長野県連の篠原孝代表は「次の総選挙の前哨戦となる大事な選挙でもあり、絶対に勝つつもりで臨む。不祥事とスキャンダルをめじろ押しにも関わらず永田町と内閣人事局を使い霞が関まで牛耳る菅政権には日本は任せられない。政権交代につなげるべく頑張っていく」とコメントしています。

公明党長野県本部の太田昌孝代表は「今回の選挙の争点は、新型コロナの終息とコロナ後に向けて、日本の未来を誰に託すのかが

問われる選挙だ。小松裕候補は、コロナ禍で医師として患者と向き合う中、コロナ克服と経済の再生に向けて行動し発信してきた。現在の状況下で最適の候補と認識している」とコメントしました。日本維新の会長野県総支部の手塚大輔代表は「新型コロナの第4波が県内でも猛威をふるう中、感染症対策と経済の両立という非常に困難な課題に対して、与野党問わず政治は向き合わなければならない。選挙戦を通じて建設的に議論が行われるべきだ」とコメントしています。

共産党長野県委員会の鮎沢聡委員長は「今回の選挙は、菅・自公政権に審判を下し、新しい日本、新しい政治への一步を踏み出すかどうか問われる全国注目の選挙になる。市民と野党の共闘の力で、必ず羽田次郎候補を勝利させ政権交代ののろしを上げる選挙にする決意だ」とコメントしています。

社民党長野県連の中川博司代表は「今回の選挙は新型コロナでPCR検査をすぐに受けることができずに亡くなった羽田雄一郎氏の議席を守る選挙だ。命と暮らし・雇用を壊してきた自民党政治は限界だ。政権交代の突破口にしていきたい」とコメントしています。

参議院長野選挙区の補欠選挙告示 3人が立候補

NHK 長野 04 月 08 日 17 時 49 分

長野県選出の羽田雄一郎参議院議員が新型コロナウイルスに感染して死去したことにともなう補欠選挙が8日告示され、3人が立候補して17日間の選挙戦に入りました。

菅内閣が発足してから初めての国政選挙となります。

参議院長野選挙区の補欠選挙に立候補したのは届け出順に、

自民党の元衆議院議員、小松裕氏（59）

雄一郎氏の弟で立憲民主党の羽田次郎氏（51）

NHK受信料を支払わない方法を教える党の職員、神谷幸太郎氏（44）

いずれも新人の3人です。

自民党が公認する小松氏を公明党が推薦する一方、立憲民主党が公認する羽田氏を共産党、国民民主党、社民党が推薦し、与野党対決の構図となっています。

今回の補欠選挙は去年9月に菅内閣が発足してから初めての国政選挙となり、新型コロナウイルス対策などが争点になる見通しです。

秋までには衆議院選挙が行われることから与野党各党は、前哨戦と位置づけて総力をあげることにしています。

参議院長野選挙区の補欠選挙は、17日間の選挙戦を経て今月25日に投票が行われて即日開票されます。

小松裕候補は「私は、医療も政治も経験してきた。どんなに医療が進歩してもそれを支える政治がしっかりしないと、命を守ることとはできない。これが私が政治を志した原点だ。命を守り、暮らしを守り、地域経済も守っていきたい」と訴えました。

羽田次郎候補は「兄は新型コロナウイルス感染症で命を落とした。しっかりと医療を受けられるその体制作りをしなければならぬ。大変重要な議席を私は何があっても勝ち取らなければならない」と訴えました。

神谷幸太郎候補は「NHKの受信料問題を投票してもらう際の選択肢の1つにしてもらいたい」と訴えました。

参院再選挙 告示後初の日曜日 候補者が各地で支持訴え

NHK 広島 04 月 11 日 12 時 20 分

参議院広島選挙区の再選挙が告示されてから、初めての日曜日を迎えた 11 日、候補者たちは各地で街頭演説を行うなどして有権者に支持を訴えました。

参議院広島選挙区の再選挙は、今月 8 日に告示され 1 人の定員に対し、6 人が立候補しています。

再選挙が告示されてから初めての日曜日を迎えた 11 日、候補者たちは選挙カーで各地を回ったり、街頭演説を行ったりして、有権者に支持を訴えました。

今回の再選挙は、おとしの参議院選挙をめぐって公職選挙法違反の罪で有罪が確定した河井案里氏の当選無効に伴って行われます。

再選挙のきっかけとなった事件を踏まえ、選挙戦では、▽政治への信頼をどう回復していくかのほか、▽新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策などをめぐって論戦が展開されています。

参議院広島選挙区の再選挙の投票は、今月 25 日に行われ、即日開票されます。

健康か権利か...コロナ療養者の投票どうする？ 参院長野補選と広島再選挙の大きな課題

東京新聞 2021 年 4 月 10 日 06 時 00 分

菅政権で初の国政選挙となる参院長野選挙区の補欠選挙と広島選挙区の再選挙が始まった。コロナ禍の真ただ中で選挙事務を担う自治体は、投票を望む自宅・宿泊施設の療養者の機会確保と感染防止の両立という難題に直面している。政府に現場の「悲鳴」を受け止める姿勢は乏しく、憲法で保障された選挙権が侵されかねない状況も生じ始めている。（川田篤志）

◆外出禁止ではないが...

長野県選挙管理委員会の担当者は現状を「武器を持たないまま戦う感じだ」と表現する。コロナ禍ではない平時を前提とする公選法の規定に沿えば、療養者も等しく投票できるよう取り組む必要があるからだ。

2 月施行の改正感染症法はコロナ患者に対し、外出自粛要請に応じる努力義務を課した。ホテルなどに入った療養者は、10 日程度は外出できず、その間に投票日を迎えれば 1 票を投じる機会を失う。長野県内の療養者は 9 日時点で宿泊 80 人、自宅 42 人、広島県内は 8 日時点で宿泊 51 人、自宅 6 人。

政府は「公選法上、投票のための外出を禁止していない」と原則論を繰り返すが、投票時だけ療養者に外出を促すわけにもいかず、長野県の担当者は「できる範囲でやるしかない」と話す。補選では療養者に引き続き外出自粛を呼び掛け、なお希望する人には投票所がすいている時間帯を伝える方針だ。選挙権行使の制約にもつながりかねない異例の対応だが「職員が感染し、選挙中に全員休めば致命的だ」と理解を求める。

◆自治体でも対応分かれる

国内初の感染者が確認された昨年 1 月以降、総務省は選挙でマスク着用や手洗いなどの一般的な対策を助言してきた。療養者の対応は先月、ようやく長野、広島両県と、13 日に衆院北海道 2 区補選が告示される北海道に「宿泊施設に期日前投票所や不在者

投票記載場所を設けた場合、当該施設で投票が可能」と通知。各都道府県に同様の内容を伝えた。今月 7 日付の通知では、期日前投票所を運用する留意事項を列挙した。

だが、自治体側からは「現実的ではない」と不満が漏れる。都道府県が設ける宿泊施設には各地から療養者が集まるが、期日前投票は施設が所在する市区町村に住む有権者にしか認められないためだ。事務負担の重さや職員の感染リスクの懸念も強く、広島県は療養者向けのホテルに投票所を設置した一方、長野県と北海道は見合わせるなど対応が分かれた。

自宅療養者はどうするのかという問題も残る。先月に知事選があった千葉県選管の担当者は「宿泊施設だけ便宜を図って自宅療養者に文句を言われたら、返す言葉もない」と漏らす。総務省は「投票所に個別に連れて行くなど、運用上の工夫は考えられるのでは」（森源二選挙部長）と具体策は自治体任せだ。

◆郵便投票も難しく

秋までに衆院選が行われ、各地では東京都議選など地方選も相次ぐ。感染拡大で自宅・宿泊療養者が増え続ければ、選挙権が脅かされる恐れは強まる。

札幌市と北海道は先月、重度障害者らに限定されている郵便投票をコロナ患者に認めるよう政府に要望した。加藤勝信官房長官は 7 日の記者会見で、郵便投票の不正防止の困難さを念頭に「選挙の公正確保などの観点も含め、検討が必要な課題」と話すにとどめた。

衆院北海道 2 区補選、13 日告示 野党は共闘体制

朝日新聞デジタル斎藤徹、中野龍三、松尾一郎 2021 年 4 月 9 日 21 時 30 分



衆院道 2 区補選の投票用紙を確認する選管職員=2021 年 4 月 9 日午前 9 時 28 分、札幌市西区、榎場勇太撮影



吉川貴盛・元農水相=収賄罪で在宅起訴=の辞職に伴う衆院北海道 2 区補選が、13 日に告示される。吉川氏が所属した自民が候補者擁立を見送る一方、野党は共闘体制を確立。無所属候補も名乗りを上げ、道内の小選挙区で過去最多の 7 人が立候補を予定する。野党統一候補の松木謙公・前衆院議員（立憲民主）に他候補が挑む構図となりそうだ。

9 日夜、札幌市東区の区民センターで、松木氏の決起集会が開かれた。公認する立憲民主、共闘を組む共産、社民の 3 党の支持者ら約 90 人が集まる中、松木氏は「野党統一候補になったからには自信をもって頑張りたい」とあいさつした。

3 党は、「野党共闘で政権奪還を」と訴える護憲・平和団体「戦

争させない市民の風・北海道」の仲立ちを受け、昨年末から候補者統一を協議してきた。立憲民主と共産は「原発ゼロ」などで折り合いがつかず、協議は難航したが、「共闘による勝利」を最優先とすることで一致。3月28日、松木氏を統一候補とし、共産が候補を取り下げることが決まった。

前回2017年衆院選では、吉川氏が10万4千票余りを獲得し当選。次点の松木氏は希望（当時）公認で約7万4千票、続く共産候補は約5万2千票だった。野党側は、自民不在の選挙を圧倒的に有利に進め、秋までに行われる総選挙での自民との対決に弾みをつけることを狙う。

ただ、吉川氏が鶏卵業者からの現金供与疑惑の発覚後に辞職した一方、松木氏は2月、過去の政治資金収支報告書で不適切な会計処理をしていたことが判明した。共産支持層には、所属政党を転々とした松木氏支援への抵抗があるとの指摘もある。立憲道連の逢坂誠二代表は「選挙は何か起きるかわからない。気を抜いてはいけない」、共産道委員会の青山慶二委員長も「甘い選挙でない」と気を引き締める。

自民が「不戦敗」を決め、政権与党の公明も自主投票とし、それぞれの地元議員らは表立った動きを見せていない。自民は道連会長人事を巡る混乱が続く、公明も特定候補の支援には動かないとみられる。そうした中、保守系の支持層を取り込む動きが活発化している。

維新は、鈴木宗男参院議員の元秘書で前道議の山崎泉氏（48）を擁立した。鈴木氏は野党共闘を「政策の一致もなく野合だ。有権者の理解を得るのはほど遠いのではないかと」と批判。前回衆院選の道2区で維新公認候補は約2万1千票を獲得しており、今回の補選で存在感を示すことを狙う。

元農水官僚で弁護士の長友隆典氏（52）、元地元テレビ局アナウンサーの鶴羽佳子氏（53）の無所属新顔2氏は「保守」の立場を公言し、自民との距離の近さを強調する。

長友氏は自民の政治塾出身の自民党員で、事務所には道内選出を含む自民の国会議員の激励の貼り紙が貼られている。鶴羽氏は自民支持層の企業経営者らへのあいさつ回りを続けている。鶴羽氏は総選挙での自民公認を目指すことも明らかにしている。

補選にはこのほか、NHK受信料を支払わない方法を教える党から斉藤忠行氏（29）、政治団体代表の小田々豊氏（65）も立候補を表明。無所属で医師の小林悟氏（56）も10日に立候補を表明する予定。（斎藤徹、中野龍三、松尾一郎）

衆院北海道2区補選に立候補を表明・検討している人たち

《立候補表明済み》

松木謙公（62） 立憲・前 元農水政務官
山崎 泉（48） 維新・新 元道議
斉藤忠行（29） N党・新 元NHK集金人
小田々豊（65） 諸派・新 政治団体代表
長友隆典（52） 無所・新 弁護士
鶴羽佳子（53） 無所・新 元アナウンサー

《立候補を検討》

小林 悟（56） 無所・新 医師

※敬称略、年齢は投票日現在

野党共闘、保守乱立...衆院北海道2区補選は4氏が軸 13日告

示

毎日新聞 2021/4/11 08:55(最終更新 4/11 08:55)



国会議事堂＝川田雅浩撮影

自民党の吉川貴盛元農相の辞職に伴う衆院北海道2区補選（25日投開票）が13日告示される。これまでに、道内の小選挙区では過去最多となる7人が立候補を表明。道2区では初めて実現した野党共闘の成否や、乱立する保守系候補の票の奪い合いが焦点で、4氏を軸とした争いになりそうだ。【米山淳、源馬のぞみ、三沢邦彦、岸川弘明、土谷純一】

札幌市東区と北区の一部から成る2区は、無党派層の多い都市型選挙になる傾向が強く、過去の衆院選の結果も全国的な政党の伸長を反映してきた。しかし今回は、自民が後に収賄罪で在宅起訴された吉川氏の後任の擁立を見送ったため、構図がこれまでの与野党対決と大きく異なる。

秋までに実施される衆院選の前哨戦と位置づける立憲民主党と共産党は、旧12区などでの当選実績がある立憲民主の元職、松木謙公氏（62）を統一候補とした。9日に開かれた決起集会で、共産、社民、市民ネットワーク北海道の各党が松木氏に激励のメッセージを送り「野党共闘」をアピール。共闘を仲介した上田文雄前札幌市長らで作る市民団体「市民の風・北海道」も陣営を支える。

過去の衆院選と北海道2区の開票結果

2017年

安倍首相が「国難突破解散」と命名。自民大勝、希望大敗。結党間もない立憲民主が野党第1党に	当 吉川 貴盛 自民 10万4824票
	松木 謙公 希望 7万4425票
	金倉 昌俊 共産 5万2626票
	小和田康文 維新 2万1643票

2014年

安倍首相が「消費増税先送りの信を問う」と解散。自民は横ばいで3分の2議席維持	当 吉川 貴盛 自民 8万8667票
	松木 謙公 維新 5万6375票
	池田 真紀 無 4万6922票
	金倉 昌俊 共産 3万6277票

2012年

自民圧勝で3年3カ月ぶりに政権奪回。民主は壊滅的敗北。維新が第3党に	当 吉川 貴盛 自民 8万3575票
	三井 辨雄 民主 5万5520票
	高橋 美穂 維新 4万7139票
	太田 秀子 共産 2万8183票
	沢田 隆二 みんな 2万4606票

2009年

民主が300議席超を獲得し、初の本格的政権交代。自民は議席を6割以上減らし下野	当 三井 辨雄 民主 16万5267票
	吉川 貴盛 自民 9万3870票
	岡 千陽 共産 2万7580票
	本田 由美 社民 1万4311票
	山本 志美 諸派 3782票

※敬称略。当は当選、は重複立候補で比例当選。

ただ、松木氏は2月に自身の資金管理団体を巡り不適切な会計処理があったことを公表している。「政治とカネ」が問われる今回の選挙では不安材料となり、共闘にひびが入る可能性もある。

松木氏と争う形になるのが「保守」を自認する3氏。日本維新の会の元道議、山崎泉氏（47）▽弁護士長の長友隆典氏（52）▽元HBCアナウンサーの鶴羽（つるは）佳子氏（53）は、不戦敗で自主投票とした自民支持層の取り込みを狙う。2017年の前回衆院選で吉川氏は、有効投票数の4割以上の約10万5000票を獲得している。

山崎氏は帯広市議を2期、道議（帯広市選挙区）を2期務めた政治経験が強調。維新の道総支部代表で新党大地代表の鈴木宗男参院議員とともに商業施設前などでマイクを握り、国会議員の定数・報酬を3割削減など「身を切る改革」を公約に掲げる。

無所属で出馬する長友氏は、自民党の対応を「候補者を立て、有権者の批判に真摯（しんし）に答えるべきだ」と批判。自身が自民党員であることをアピールし、保守系候補の中ではいち早く2月初旬から街頭に立って、経済立て直しなどの政策を訴えている。

鶴羽氏は告示1カ月前を切ってから出馬表明したが、次期衆院選の自民の候補者公募に応じる考えを示し、政権与党との距離の近さで差別化を図ろうとしている。企業や団体回りなどを中心に活動し、唯一の女性候補として女性の社会進出の促進も訴える。

他に立候補を予定しているのは、NHK受信料を支払わない方法を教える党の新人、斉藤忠行氏（29）▽高知県の政治団体代表、小田々（おだた）豊氏（65）▽岩見沢市でクリニックを経営する小林悟氏（56）——の3氏。

斉藤氏は動画投稿サイト「ユーチューブ」で党の公約であるNHK放送のスクランブル化、小田々氏は電話中心の活動で消費税廃止を訴えるなど、それぞれ独自の手法で支持を得たい考えた。10日に立候補表明の記者会見をした小林氏は「新型コロナウイルス感染の重症者病床を増やしたい」と訴えた。

コロナ下で実施される今回の補選は、密集した街頭演説や有権者との握手といった従来の手法が使づらい。知名度アップや政策の浸透も、各陣営の課題になりそうだ。

立候補が予定される顔ぶれ（敬称略）

松木謙公（62）立憲・元元農水政務官

山崎泉（47）維新・新元道議

斉藤忠行（29）N党・新動画配信業

小田々豊（65）諸派・新政治団体代表

長友隆典（52）無所属・新弁護士

鶴羽佳子（53）無所属・新元アナウンサー

小林悟（56）無所属・新医師

衆院道2区補選 告示直前 3密対策に腐心 演説後握手控え 集会自粛も 「人集まれず寂しい」

北海道新聞 04/11 05:00



街頭演説を終え車に乗る前に手を消毒

立候補予定者（写真を一部加工しています）＝10日午前9時20分、札幌市北区（金田翔撮影）

13日告示、25日投開票の衆院道2区（札幌市北区の一部、東区）補欠選挙は10日、告示直前の週末を迎えた。各陣営は新型コロナウイルス感染対策のため、街頭演説後の握手やビラ配りを控え、消毒も徹底するなど「3密」回避に苦心。人が密集する集会を自粛している陣営もあり、告示後もいつもより「静かな選挙戦」となりそうだ。

保守系の候補予定者は10日、北区のスーパー前で街頭演説を終えると、車に乗る前にマイクと手に消毒液を噴射し、「関係者に感染が確認されたら選挙どころではなくなる」と話した。マスクは街頭演説を終える度に交換するため1日10枚以上使うことも。自身と同行スタッフを対象に抗原検査キットによる検査を3日に1回行うなど、対策を徹底している。

別の候補予定者は同日、北区のスーパー前で陣営関係者と3メートル以上の距離を保ちながら演説した。有権者とは握手せず、グータッチを交わす程度。個人演説会も行わない予定で、候補予定者は「多くの人が集まれず寂しい」とぼやいた。

各陣営は事務所でも来訪者への消毒や検温を徹底するなど、対策に細心の注意を払っている。来訪時に名前と来所時間の記入を求め、感染が確認された場合に保健所の疫学調査に協力する体制を整えている陣営もある。常駐スタッフの人数を絞り込み、オンラインで打ち合わせを行っている事務所も少なくない。

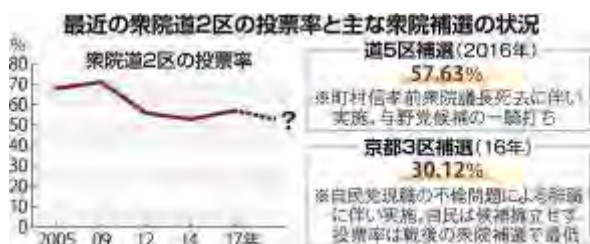
ある候補予定者は、関係が近い札幌市議が感染者の濃厚接触者となったため、自身もPCR検査を受けた。結果は陰性だったが、自主的に3日間、自宅待機したという。

別の候補予定者は街頭でチラシを配ろうとした際「コロナなのに渡さないで」と言われ、配布を中断した。どの陣営も一般市民と接触する際の対応は手探りのようだ。

残り：260文字/全文：983文字

与党不在、投票率伸びない？ 衆院道2区補選 コロナも影響、選管「過去最低避けたい」

北海道新聞 04/10 09:54 更新



13日告示、25日投開票の衆院道2区（札幌市北区の一部、東区）補欠選挙は与党不在で対立軸が見えにくく、投票率が伸び悩むとの見方が強まっている。同じように自民党が不戦敗を選んだ2016年の衆院京都3区補選は、投票率が戦後の衆院補選で最低の約30%に落ち込んだ。加えて今回は新型コロナウイルスの影響で有権者が外出を避ける可能性もあり、選管関係者は気をもんでいる。

衆院道2区の投票率は過去5回、おおむね全国平均と近い50～70%台で推移＝グラフ＝。前回17年は57・12%で当時、自民前職だった吉川貴盛氏が希望の党前職の松木謙公氏を破った。

今回は収賄罪で在宅起訴された吉川氏の議員辞職に伴うもので、自民は候補擁立を見送り公明党も自主投票の方針。9日時点で野党元職に新人6氏が絡む構図の道2区は関心の低さが懸念され、各候補予定者の陣営は投票率は「せいぜい30%台」などとみる。

一般に投票率は無党派層が投票に行かないと大きく低下するが、組織に支えられる党の票は影響を受けにくいとされる。労組や共産党の支援も受ける立憲民主党の松木氏陣営には、投票率が下がれば結果的に得票率が上がるとの見方があり「気が緩みかねない」と警戒。無所属候補は厳しい戦いとなる可能性もある。

北大公共政策大学院の山崎幹根教授は、与党候補がいなくても他候補への投票を通じて政治とカネの問題などへの異議申し立てはできるとし「民意を示す機会に変わりはない」と投票の意義を説く。

残り：189文字/全文：810文字

日米、対中圧力強化へ 気候、経済、安保で共同文書―首脳会談 時事通信 2021年04月11日07時09分



菅義偉首相

菅義偉首相とバイデン米大統領による16日の日米首脳会談では、安全保障に加え、気候変動問題での協力、サプライチェーン（調達・供給網）の「脱中国依存」を含む経済連携が主要議題となる。日米両政府は、これらバイデン政権の優先課題で関係強化をアピールするとともに、中国に対峙（たいじ）する姿勢を鮮明にする考えだ。

日本政府関係者によると、会談の成果物として(1)安全保障全般(2)気候変動(3)経済協力―の3分野で共同文書の発出を想定している。

首相自身が「首脳会談で大きなテーマになる」と位置付ける気候変動問題では、日米が2050年までに温室効果ガス排出をゼロにする目標に一致して取り組む姿勢を示し、排出大国の中国に圧力をかける。途上国の「脱炭素化」を進めるため、日米によるクリーンエネルギーの技術提供や資金面の支援も検討している。

経済分野では、米国が主導する半導体やレアアース（希土類）、医薬品などの重要品目の調達・供給の多角化に日本が協力し、中国依存の脱却を図る。新型コロナウイルスの世界的流行でサプライチェーンの脆弱（ぜいじゃく）性が明るみに出たことが背景。人工知能（AI）や大容量通信規格「5G」の日米連携も盛り込む。

首脳会談では、民主主義や法の支配を重視する「自由で開かれたインド太平洋」の実現を確認。安全保障全般にかかる文書で、東・南シナ海における中国の軍事圧力強化に反対する姿勢や、台湾海峡の平和と安定の重要性を指摘する見通しだ。香港や新疆ウイグル自治区での人権状況悪化に「深刻な懸念」も示す。

米側は温室効果ガス削減目標などをめぐって「日本に高い球を投げている」（政府関係者）といい、安易な合意は産業界の反発を招きかねない。中国やミャンマーの人権問題で、日米の温度差

が露呈する恐れもある。首相は首脳会談に当たり、内外のバランスを取る微妙なかじ取りを迫られる。

日米同盟は「対中同盟」に 足りないのは日本の自信？

朝日新聞デジタル聞き手 ワシントン＝園田耕司 ワシントン＝青山直篤 2021年4月12日 6時47分



日米首脳会談



「新冷戦」と言われる米中対立激化のさなかに行われる日米首脳会談。同盟国を巻き込んで中国と競争しようとするバイデン政権のもとで、日本の戦略はどうあるべきか。

神谷万丈・防衛大総合安全保障研究科教授

バイデン政権の対中姿勢がトランプ政権に比べて甘くなるのではとの懸念は当たりませんでした。ただし、米国だけの力ではもはや中国と向き合えません。そこでクローズアップされたのが日本です。

トランプ時代は同盟国との関係が揺らぎましたが、日米同盟だけは安倍政権を通じて例外的に関係が強化されています。「同盟関係の再構築」を掲げるバイデン政権は、これを活用したいわけですから。

ブリンケン国務長官が日米2プラス2会合で「同盟を再確認するだけではなく実行するために日本に来て」と述べたことに私は注目します。これまで日本が米国の力を必要としていたのに対し、米国は日本の力をそれほど必要としていませんでした。しかし、今は米国にとって日本は頼りになる存在で、対中戦略でも実際の日本の行動への期待が非常に大きくなっています。2プラス2の合意文書を読むと、日米同盟は冷戦後の1990年代の安保再定義当時の「特定の国に向けられたものではない地域安定化装置」という位置づけから、「対中同盟」的な性格に変わっているようにみえます。

記事後半では「日米両国がアジア太平洋地域についてもっと本音で議論すべき」と主張するスーザン・ソーントン元米 국무次官補代行や、「日本は経済面で対中依存を深めており、難しい対応を迫られる」と話す白井さゆり・米コロンビア大経済学博士も登場します。

このため、日米間には対中国で…

残り：2966文字/全文：3520文字

しんぶん赤旗 2021年4月11日(日)

日米合意25年 普天間の返還 早く デニー知事 新基地固執やめよ

玉城デニー沖縄県知事は9日の県庁での記者会見で、同県宜野

湾市の米軍普天間基地の全面返還を日米両政府が合意してから12日で25年となるにもかかわらず、返還が実現していないことを問われ、「最も大きな理由は、県民の頭越しに日米で合意した計画（新基地建設）に固執していることにある」と強調しました。

デニー知事は、県としてこれまで、市街地の中心部に位置する普天間基地の固定化は避けること、一日も早い危険性の除去や早期閉鎖・返還などに取り組むことを、日本政府に求めてきたと説明しました。

日米両政府が普天間基地返還のための代替施設だと主張して固執する、同県名護市辺野古の米軍新基地建設についてデニー知事は、新基地の提供手続き完了まで12年もかかり、普天間基地の危険性除去や返還につながらないことを改めて指摘しました。

デニー知事は新基地建設の工事中止も求めていると述べた上で、「日米両政府は沖縄県の意見を真摯（しんし）に協議の場で聞いた上で、解決方法を追求していただきたい」「基地の整理・縮小は県民の長年の悲願だ」と訴えました。

米、普天間移設で「日本政府の取り組み歓迎」 国防総省

日経新聞 2021年4月9日 7:07



普天間問題は16日の日米首脳会談の議題の一つになる＝ロイター

【ワシントン＝米沢毅】米国防総省は8日の声明で、沖縄県・米軍普天間基地（同県宜野湾市）の名護市辺野古への移設に向けた日本政府の取り組みを評価していると表明した。「米国は日本政府が（代替施設の建設という）長期目標に向けて前向きな措置をとっているのを歓迎している」と強調した。

日米両政府による普天間返還合意から12日で25年を迎えるが、移設作業は四半世紀を経てなお途上にある。国防総省は普天間移設が住宅密集地における米軍運用の削減だけでなく、日本防衛の能力の改善につながるとの認識を表明した。「代替施設の建設によって米国は日本への安全保障の責任を果たすことができる」とし、16日の日米首脳会談を控えて移設作業の進展に期待を示した。

【点描・永田町】相次ぐ「解散発言」での疑心暗鬼

時事通信 2021年04月11日 19時00分



自民党大会で演説する菅義偉首相＝3月21日、東京都港区



衆院任期満了まで残り半年余となったが、新年度を前に自民党幹部らの衆院解散をめぐる発言が相次ぎ、与党内に疑心暗鬼を広げた。取り沙汰されている衆院選の時期は5月から10月までと多様だが、菅義偉首相が再選を狙う自民党総裁選とも密接に絡むため、それぞれの発言に政局的思惑がにじむからだ。

きっかけは下村博文政調会長の3月18日の講演での発言。4月8日からの首相訪米と日米首脳会談に絡めて「内閣支持率にもプラスになる。そのときに（解散）ということは可能性としてはある」と訪米後解散を示唆し、「（本命視される）9、10月だけでなく、（7月4日投開票の）都議選と一緒にということも（首相の）頭の隅にあるかも」と付け加えた。しかし、解散権者の首相は18日夜の記者会見で、「（訪米後解散は）全く考えていない」と否定。その上で「9月までが（自民党総裁の）任期だから、その中で考えていく」と思わせぶりに語った。また、21日の自民党大会では「どんなに遅くとも秋までには総選挙がある。私は先頭に立って戦い抜く決意だ」と、首相主導での解散断行に強い意欲をアピール。さらに、2021年度予算成立後の26日には「（解散が）いつあってもおかしくないとは思っていない」と改めて“早期解散”への慎重姿勢をにじませた。

これと並行して、二階俊博自民党幹事長は21日、「解散は首相が決めること。軽々しく言うべきものではない。どれだけ仲間の選挙のために汗をかいたのか。自分の選挙は大丈夫なのか」と、下村氏の発言に強い不快感を表明。翌22日の自民党役員会では「党幹部が解散について発言するのは控える」と申し合わせた。

◇名分は「デジタル庁」か「五輪」だが

ただ、衆院任期満了は10月21日で、首相の自民党総裁としての任期は9月30日まで。総裁再選を目指す首相にとって、東京五輪・パラリンピック閉幕後に衆院を解散する場合、総裁選の前か後かが政治的には極めて重要だ。首相が解散に絡めて「9月までが任期」と語ったことで、永田町では「総裁選前の解散を狙っている」（自民幹部）との見方が広がった。一方、下村氏が指摘した7月4日の東京都議選と衆院選の同日選説については、石井啓一公明党幹事長が3月19日の会見で「現実的な選択肢ではない」と否定した。都議選最重視の同党は従来、都議選と衆院選の切り離しを主張し、山口那津男代表も首相にその方針を伝えている。二階氏は同29日に、野党が内閣不信任案を出せば「首相に解散を進言する」と述べたが、「単なるブラフ」（自民長老）と受け止められている。このため、政治的には解散・総選挙は5月中か五輪後の9、10月に絞られる。

「5月選挙」は、首相が公約したデジタル庁関連法の5月連休前成立が「大義名分になる」（自民幹部）との声も出る。しかし、「投開票前に感染第4波が来れば、自民大敗につながる」（自民長老）との不安が、「本命は五輪後」との見方に結び付く。そこで注目されるのが自民党総裁選の日程だ。本格総裁選の有権者となる全国の党員・党友の資格審査には、約2カ月かかるとされ、7月末の総裁選管理委員会で選挙日程を決めるのが慣例。今年も7月中の同管理委で告示・投開票などの具体的日程を協議・決定する段取りだ。すでに永田町には「9月7日総裁選告示・20日投開票→27日衆院解散・10月24日投開票」との怪文書も出回り、「首相の“五輪花道論”も絡めた謀略」（自民長老）との臆測も広がる。もちろん、伝家の宝刀を持つのは首相だけだが、感

染再拡大が目立つ中「すべてはコロナ次第」(同)という予測不能の条件に手足を縛られる状況が続くそうだ【政治ジャーナリスト・泉 宏／「地方行政」4月5日号より】。

官僚人事の憲法論 政治主導と中立性は両立するか

編集委員 清水真人

日経新聞 2021年3月30日 5:00 [有料会員限定]



2021年度予算が成立し、首相官邸と各府省は夏の幹部人事に向けた調整を本格化する。選挙で選ばれた国会の多数派を背にする首相・内閣が次官や局長らの人事権を実質的に握る。これが安倍晋三前内閣からの流れだ。官僚制への民主的な統制と、中立性や専門性の維持とのバランスをどう測るのか。憲法論まで立ち戻って再考する。

首相就任後も菅氏のこだわり



参院予算委で答弁する菅首相(15日)＝共同

3月15日の参院予算委員会。首相の菅義偉が著書「政治家の覚悟」で「改革を実行するためには、更迭も辞さない」とNHK担当課長を交代させた総務相時代の経緯を明かしていることを、立憲民主党幹事長の福山哲郎が取り上げた。

福山「首相は自らの著書で、自らの方向性に合わない役人は首を切る、ということを明言をされている」

菅「私は政策によって(考え方が)違う方を異動させているわけだ。(その政策決定が)終わったら、また元に戻して、出世している人もいる。そこはレッテルを貼るような形はぜひ避けてほしい」

1日の衆院予算委でも「感情で人事をやったことはない。全て政策でやっている。政治家は国民と様々な政策を約束し、実現するために当選するのではないかと民主的正統性を主張した菅。内閣人事局を新設し、幹部人事の一元化を進めた安倍前内閣の官房長官だった。首相就任後も人事による官僚引き締めへのこだわりは変わらない。

国土交通省は26日、独立行政法人の鉄道建設・運輸施設整備支援機構の理事長に河内隆(1982年自治省入省)を任命した。国交省や旧国鉄出身者以外の起用は初めて。河内は安倍前内閣で内閣総務官、内閣府の官房長や次官を歴任し、菅も評価してきた元内閣官僚だ。公募手続きを経た人事とはいえ、官邸の影がちらつく。

発端は20年秋、鉄運機構が建設中の北陸新幹線(金沢―敦賀)の工期の遅延と費用の膨張が発覚したことだ。政治問題化しやすい新幹線建設を巡る業務管理体制の不備に菅は激怒。国交省出身の理事長とプロパーの副理事長が引責辞任に追い込まれた。

国土交通相の赤羽一嘉は12月25日、同省官房長だった水嶋智(86年運輸省入省)を鉄運機構の副理事長に出向させると発表した。「鉄道行政に精通し、組織マネジメントにも指導力を発揮

してきた中核人材」だと高く評価して見せたが、年明けから通常国会を控えた時期だ。省運営の要で、国会対策の司令塔にもなる官房長の異動など霞が関の常識ではありえなかった。

赤羽は「それだけ今回の事案を重く見ている」と説明したが、菅主導のトップダウン色を否定できない。理事長ポストは非国交省から登用し、副理事長に実力派の国交官僚を据える体制で組織の刷新を断行する政治的意思を強烈に示したといえそうだ。

霞が関側に縦割りの弱み



業務改善策をまとめた文書を赤羽国交相

(左)に提出する鉄道建設・運輸施設整備支援機構の水嶋智副理事長(1月29日、国交省)＝共同

国家公務員法上は、各府省の次官、局長ら幹部の任免権は一貫して各閣僚にある。ただ、14年に内閣人事局を創設し、幹部候補者名簿の作成や適格性審査を通じた一元管理を導入。閣僚は首相や官房長官との事前協議を義務づけられ、協議に基づいて任免を進めなければならないようになった。副総理・財務相の麻生太郎などごく一部の実力者を除き、閣僚の人事権は実質的に内閣への一元化が進んだ。

憲法は65条で「行政権は、内閣に属する」と定める。72条で首相が「行政各部を指揮監督する」と明記。73条4号で「法律の定める基準に従ひ、官吏に関する事務を掌理すること」を内閣の事務とすることから、憲法学者で近畿大教授の上田健介は著書「首相権限と憲法」で「行政部の職員の人事権を内閣に付与したもの」と解釈する。

内閣による任免だとしても、国会が制定した「法律の定める基準」には従う枠組みだ。国家公務員法は次官、局長ら一般職を「国民全体の奉仕者」とし、職務の公正確保のため政治的行為を制限。成績や能力に基づく人事をうたい、縁故や政治的影響を排除した「資格任用」(メリットシステム)を建前とする。「実質的意味の憲法」を構成する重要な法律の1つと言える。

内閣による幹部の任免を正面から認めたうえで、中立性や専門性を重んじる資格任用とどう両立させるか。上田は「人事権が内閣レベルか各省単位かという論点と、政治家の関与の有無、強弱という論点は別だ」として、内閣主導に対応して官側もオール霞が関の視点に立つ選考手続きの制度化が必要だと説く。民主的正統性を背にする首相や官房長官と対峙するには、いまの各省縦割り人事では足場が弱すぎるという。

首相主導の政権運営を目指した平成の統治構造改革のモデルは英国の議院内閣制だが、政官関係や官僚人事が参照された形跡は乏しい。英国の官僚制は各省縦割りで年功序列を貫くわけでは必ずしもなく、専門性に応じた省間異動もある。幹部人事も公募が基本だが、資格任用で政治的中立性を重んじる点で日本と一定の親和性がある。

村松岐夫編著「公務員人事改革」によると、英国の次官人事は、官房副長官(事務)に近い官僚機構のトップ、人事院総裁に似た独立機関の長、数名の次官らでつくる「幹部リーダーシップ委員会」が外部公募、部内公募、同格の役職からの異動のいずれかの

手続きを選ぶ。次に人事独立機関の長が主催する「候補者選考委員会」で具体的な候補者を選び、首相に推薦する。

英国では独立機関も選考に関与



最終的に決めるのは首相だ。近年は複数の候補者が推薦され、首相が決めるようにルールが改正された。英国でも「政治主導」の圧力が強まるが、上田は官僚機構や人事独立機関のトップグループが縦割りを超えて候補者選考を差配する点に着目する。

「官側の推薦手続きが緻密に制度化され、全官僚集団の目線での選考を経るので、政治家も覆しづらい。独立機関も適材適所かどうか政と官の双方に目を光らせている」

公募なら能力や経験など求める要件を事前に説明するはずだが、日本は各府省での内部任用が基本。そこでの選考プロセスも、各府省と、内閣人事局長を兼務する官房副長官（事務）の杉田和博が調整役となる首相や官房長官との協議の過程も、ブラックボックスだ。人事は説明など一切しないのが当たり前だとされてきた。これは「政治主導」にとって実に都合が良い。

「明治以来、行政官が政治領域に深く関わって政策立案を担うことは自明のこととされてきた。こうした実態にもかかわらず、『政策立案において中立性を保つこと』の意味は、現在に至るまで明確な整理がなされてこなかった」

人事院から京都大教授に転じた嶋田博子は近著「政治主導下の官僚の中立性」で、中立性の概念は政官双方にとり「まったく常識ではない」とさえ断じる。「どの政権の言うことも聞かない」超然型や「どの政権にも同じく誠実に仕える」誠実型、「党派的偏向も含めて政権の指示に忠実に従う」従属型など認識はバラバラだという。

嶋田は中立性について「国家公務員法や関連法令にこの文言そのものは存在しない」と指摘。最高裁は一般職公務員の政治的行為の制限を定めた同法 102 条は合憲と判断したものの、政策立案の現場で求められる中立性は「司法的判断の空白領域となっている」ので「公定解釈」が存在しない、とも明かす。

「国民全体の奉仕者として政治的中立性が求められている職員に対し、一部の利益のためにその影響力を行使してはならない。閣僚は職員の任命権を一部の政治的目的のために濫用してはならない」

これは総務省接待問題に絡み、閣僚らに業者からの「供応接待」を禁じた記述で関心を集めた閣議決定文書「大臣規範」の別の一

節だ。官僚人事の「政治主導」を枠づける規定だが、実効に乏しい。日本の政官関係の規律はかくも脆弱なのだ。=敬称略

赤旗動画スクープ「桜を見る会で辞職した安倍前首相秘書の復職」を事務所に直撃取材

AERAdot.2021/04/09 06:00



© AERA dot. 提供 記者の質問に答える

安倍晋三前首相 (c)朝日新聞社

月曜日の午前 10 時頃、車から降りてきた男性は何か考えごとをしているかのように、伏目がちに歩いた。オールバックになで上げられた髪。スーツの左襟元には、国会議員の秘書時代と同様に、バッジをつけている。小脇には分厚いファイル 2 冊を抱え、「あべ晋三事務所」と看板が掲げられた建物の中へと消えていった――。

この男性は、安倍晋三前首相の元公設第一秘書、配川博之（はいかわ・ひろゆき）氏。「桜を見る会」をめぐる問題で昨年 12 月に公設秘書を辞職したが、「現在も私設秘書として安倍事務所に勤務している疑いがある」と、「しんぶん赤旗」日曜版（4 月 4 日号）が報じたのだ。

冒頭のシーンは 3 月 29 日、同紙が山口県下関市の安倍事務所までとらえたものだ。同紙は表舞台から姿を消した配川氏の姿を激写し、事務所に入る瞬間の写真を紙面に掲載した。

さらに 7 枚のスクープ写真を歩いて来た順番に組み合わせ、連続コマ送り動画としてツイッター上にアップした。動画には『「桜」で辞職の安倍前首相秘書 しれっと復職』という字幕が入っている。

日曜版編集部は、こう説明する。

「複数のニュースソースから『配川氏が今も事務所で働いている』『今は常勤ではなく非常勤のような形』『地元の会合では公設秘書から私設秘書になりました』などという情報を得て、事務所前で張り込んだところ、撮れたというのが経緯です。つけていたバッジが何かは不明です。動画は 30 秒ほどの短いものですがすでに 9 万回以上も再生されており、反響は相当なものです」

配川氏が公設秘書を辞職したのは「桜を見る会」前夜祭の問題がきっかけだ。「桜を見る会」の前日、都内のホテルで開かれた夕食会の費用を、安倍氏側が補てんしていたのではないかという疑惑が持ち上がった。東京地検特捜部は昨年 12 月 24 日、2016～19 年分の後援会の収支報告書に夕食会をめぐる 3022 万円を記載しなかった政治資金規正法違反（不記載）の罪で、後援会代表の配川氏を略式起訴。東京簡裁は罰金 100 万円を命じ、配川氏も即日納付した。特捜部は秘書らと共に告発された安倍氏は不起訴（嫌疑不十分）とした。

疑惑の渦中、追及を受けた安倍氏は、国会や記者会見などで秘書が独断でやったという趣旨の弁明に終始。「今回、こうしたことが起こり、本人も反省の上、公設秘書を辞職したところであります」と、配川氏の公設秘書の辞職で幕引きを図った。

あれから3カ月以上が経過した。配川氏と面識があり、安倍夫妻の結婚のキューピット役を務めた元山口新聞東京支局長の濱岡博司氏はこう話す。

「配川さんはもともと、山口県西部の秋芳町の出身で、晋ちゃんの父親の安倍晋太郎元外相の後援会青年部にも入っていたみたいだね。晋太郎さんが亡くなり、秘書として頭角をあらわしていた」

「桜を見る会」の疑惑で秘書を辞職した一連の経緯については、こう見る。

「誰を招待するかなど、相当部分を晋ちゃんと昭恵さんが決めていたと思いますよ。何でもこの2人が指図していたからね。配川さんは安倍事務所で秘書として長いことメシを食わせてもらった恩義があるから、ドロをかぶったんでしょう。配川さんにとっては、安倍事務所に出入りしていれば、これからもメシが食えるんじゃないかな」（濱岡氏）

配川氏の名前は、おとしの参院選をめぐる大規模買収事件で、河井案里元参院議員が公職選挙法違反（買収）などの罪に問われ、当選無効となった事件でも浮上した。

しんぶん赤旗日曜版では、案里氏の夫で、公選法違反の罪で公判中の元法相・河井克行被告のアカウント名と思われる「あらいぐま」のLINEのやりとりを入手。2021年1月31日号で報じた。

このLINEの文面には、
「安倍事務所 配川秘書より架電。（2019年）5月13日月曜、14日火曜に広島入ります。5人で入ります」
「今朝、安倍総理大臣の秘書さんたちが本部事務所に到着した瞬間に、スタッフ全員が表に出て拍手で迎えるようにと、〇さんから皆に指示させてください」

などある。
「編集部が情報公開請求し、安倍氏が代表を務める自民党山口県第4選挙区支部の政治資金収支報告書に添付された領収書の写しも入手しました。その領収書から、19年5月13日から翌日まで、広島市内のホテルに5人が宿泊し、5部屋分の宿泊費を支払ったことがわかります。これはLINEのやりとりとも一致します」（前出・しんぶん赤旗日曜版編集部）

配川氏は安倍氏の指示で、案里氏の応援に広島にかけつけ、役割を果たしたのだろうか。

安倍氏は昨年8月、健康問題を理由に7年8カ月余り続いた首相の座を退いたが、その後は健康が回復してきたことが伝えられ、地元の会合などにも顔を見せている。

今も、配川氏が地元事務所に出入りしているのはなぜなのか。
「配川さんは会計処理を担当する金庫番だから、彼がいないとわからないことがいっぱいある。公設秘書を辞めたからって、急に引き継げるものでもない。特に、秋までに衆院選挙を控えているので、配川さんがいないと、裏でいろんな地方議員らが動いてくれるように指南できないらしい。だから、そう簡単に配川さんを外せないという事情があるのでしょう」（政界関係者）

安倍事務所に質問すると、文書で回答した。

「配川氏は現在も私設秘書として働いているのか」という質問に対しては、

「ご質問の秘書は退職し、共産党機関紙に書かれているとされる

『復讐』した事実はありません」

2019年の参院選で、河井案里氏の応援に安倍事務所から5人が派遣され、その中の1人に配川氏がいた、というしんぶん赤旗日曜版（21年1月31日号）の記事についての質問には、
「残念ながらご質問の記事は見えていません」

という回答だった。

（AERA dot.編集部・上田耕司）

自民、学術会議の報告書案を批判 PTの塩谷座長「見直し消極的」

2021/4/9 18:31 (JST)/4/9 18:49 (JST)updated 共同通信社

日本学術会議の在り方を検討する自民党プロジェクトチーム（PT）座長の塩谷立元文部科学相は9日、学術会議が公表した報告書案について、国の特別機関である組織形態の見直しに消極的だとして批判した。党本部で開いたPT役員会後、記者団に「自分たちの居場所だけを確保しようとの考え方」と述べた。

PTは昨年12月、政府から独立した法人格を持つ新組織への移行を求める提言を政府に提出していた。塩谷氏は「提言を全く無視したような結果だ」とも指摘した。

学術会議は8日の幹事会で、現行の組織形態に関し「変更する積極的理由を見いだすことは困難」とする報告書案を公表した。

自民・塩谷氏、学術会議の改革案批判「居場所確保しようとする考え」

産経新聞 2021.4.9 17:36

自民党で日本学術会議の在り方を検討しているプロジェクトチーム（PT）は9日の役員会で、学術会議による組織改革の報告書案をめぐる意見交換した。組織形態について報告書案が、現行の国の機関から「変更する積極的な理由を見いだすことは困難だ」としたことについて、PT座長の塩谷立元文部科学相は記者団に「何をやるべきかということを認識せず、自分たちの居場所だけを確保しようという考え方ではないか」と批判した。

PTは昨年12月、学術会議を独立した法人格を持つ組織とすることなどを柱とする提言をまとめ、政府に伝えた。塩谷氏は「提言を全く無視したような結果が出ている」と述べた。大塚拓事務局長も「現行の組織形態で国民が期待するパフォーマンスが出せていない。変更する理由が見当たらないと書きつつ、エビデンス（根拠）を示していない。極めて根拠薄弱で、現状認識、自己認識、問題認識が全くできていない」と語った。

役員会には、学術会議と政府の関係者が説明者として出席した。議員からは「開いた口がふさがらない」「このまま受け止められない」といった批判的な意見が噴出した。PTは引き続き、政府に対し基本方針の決定や具体的な制度設計を働きかける方針だ。

学術会議 “現状のまま国の機関” 報告書案 自民会合で批判

NHK 2021年4月9日 19時00分



日本学術会議の組織の在り方をめぐり、会議が現状のまま国の機

関とすることが望ましいとする報告書の案をまとめたことについて、自民党の会合では「自分たちの権利を確保する観点しか盛り込まれていない」などと批判が相次ぎ、政府に対し改めて見直しを求めることを確認しました。

日本学術会議は8日、組織の在り方について「現行の国の機関から変更する積極的な理由を見いだすことは困難だ」などと、現状の形態が望ましいという内容の報告書の案をまとめました。

これについて、政府からの独立などを提言している自民党の作業チームが9日開いた会合では、出席者から「自分たちの権利や居場所を確保する観点しか盛り込まれていない」などの批判が相次ぎました。

そして、報告書の案は受け入れられないとして、政府に対し組織の見直しを改めて求めることを確認しました。



座長を務める塩谷元文部科学大臣は、記者団に「私たちの提言を全く無視している。日本の学術の発展のために、私たちの考え方をぶつけていきたい」と述べました。

生活保護、「親族照会」は申請者の意向尊重を 厚労省が新通知、支援団体「大きな前進」

東京新聞 2021年4月9日 06時00分

生活保護を申請すると、自治体の福祉事務所が申請者の親族に援助ができないかどうか確認する「扶養照会」について、厚生労働省は照会を拒む申請者の意向を尊重するよう求める通知を自治体に出した。通知は1日付。新型コロナウイルスによる困窮者の増加に対し、扶養照会のため「家族に知られたくない」と生活保護の申請をためらう人が多く、批判が出ていた。支援団体は新通知を「満点とは言えないが大きな前進」と評価している。(編集委員・上坂修子)

◆拒む理由「特に丁寧に聞き取りを」

福祉事務所の職員が実務で参照する生活保護手帳別冊問答集に「要保護者が扶養照会を拒んでいる」場合には「その理由について特に丁寧に聞き取り」を行って、親族が「扶養義務履行が果たせない者」に該当するか否かという観点から検討するよう求めた。

弁護士や有識者らでつくる生活保護問題対策全国会議の小久保哲郎事務局長は「これまで申請する当事者の意思は確認の対象になっていなかった。不要な扶養照会を相当減らせる」と指摘。その上で「われわれは申請者が事前に承諾した場合に限ることを要望しており、このレベルまで行ってほしい」と、一層の改善を厚労省に求めた。

一般社団法人「つくろい東京ファンド」(東京)が昨年末から年始に実施したアンケートによると、生活に困窮していても生活保護を利用していない人の3人に1人が、その理由を「家族に知られるのが嫌だから」と回答している。